

# 2009年3月期 第1四半期決算補足資料 第2四半期連結累計期間及び通期業績予想

2008/07/25

 株式会社日立ハイテクノロジーズ

## 2009年3月期第1四半期決算補足資料

会計方針の変更

2009年3月期 業績予想

参考: データ集

## 会計方針の変更

# 会計方針の変更

当第1四半期より、出荷後据付作業を要する製品の収益認識基準を、「出荷基準」から「据付完了基準」に変更いたしました。

## 変更後基準：「据付完了基準」

契約に定められた当社の義務（据付調整作業等）が完了したことを確認したとき、収益を認識する。

対象商品・製品：半導体製造装置、FPD・HD関連製造装置、チップマウントなど

## 変更理由：

出荷から据付完了にいたる期間が長期となる自社製品等の収益に占める割合の増加

据付作業完了に関するデータ把握のためのシステム構築の完了

(注)収益認識基準の変更は、変更時点での業績への影響は大きいものの、翌期以降は継続適用されるため、将来の業績へ重大な影響をもたらすものではありません。

## 2009年3月期 業績予想

# 2009年3月期 業績予想 (ハイライト)

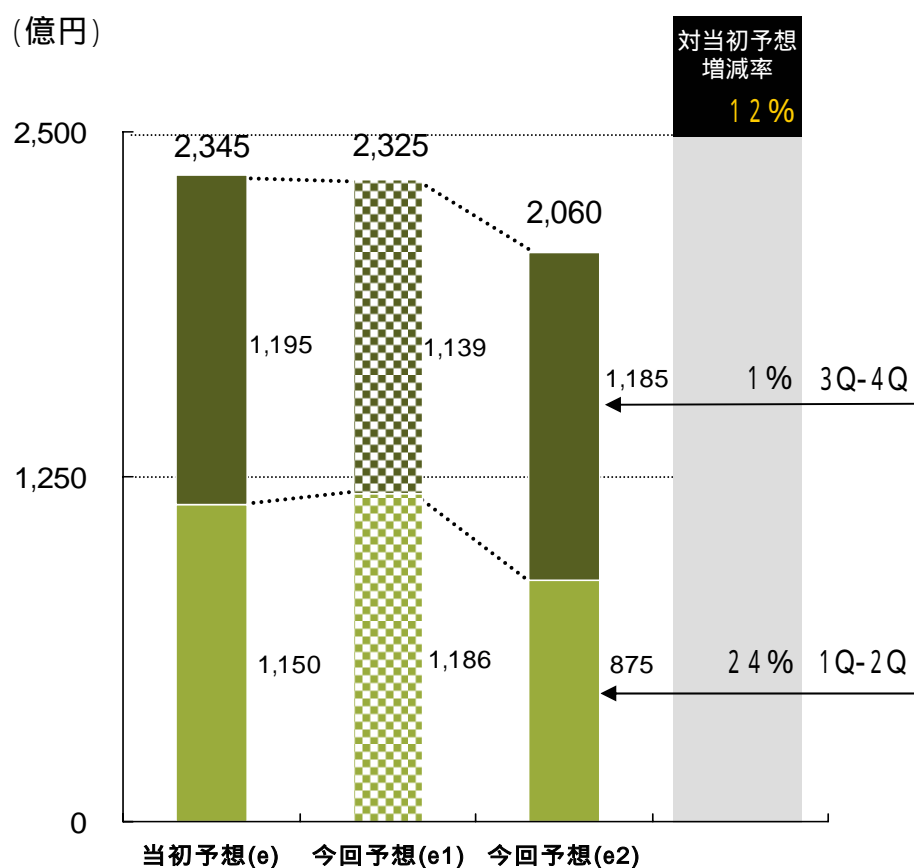
(億円)

		当初予想 (e)	業績変動 影響額(x)	今回予想 (e1)=(e+x)	対当初予想 増減率	会計方針 変更影響額(y)	今回予想 (e2)=(e1+y)	対当初予想 増減率
2 Q 累計	売上高	4,410	+ 60	4,470	+ 1%	320	4,150	6%
	営業利益	194	39	155	20%	67	88	55%
通期	売上高	9,100	0	9,100	0%	300	8,800	3%
	営業利益	430	0	430	0%	80	350	19%

(注)当初予想(e)は、2008年4月公表値

# 2009年3月期 業績予想 (電子デバイスシステム)

## 売上高



(注) 当初予想(e)=2008年4月公表値

今回予想(e1)=(e)+業績変動影響額(x)

今回予想(e2)=(e1)+会計方針変更影響額(y)

## セグメント別予想 増減説明

### 1. 業績変動による影響額

(億円)

	1Q-2Q	3Q-4Q	合計
売上高	+ 36	56	20

#### 【主な偏差要因】

- \*半導体プロセス製造装置は堅調なるも、年度前半の投資抑制の影響により、評価・検査装置の回復が遅延
- \*液晶関連製造装置は、前工程装置を中心に堅調に推移
- \*HD関連製造装置は需要低迷

### 2. 会計方針変更による影響額

(億円)

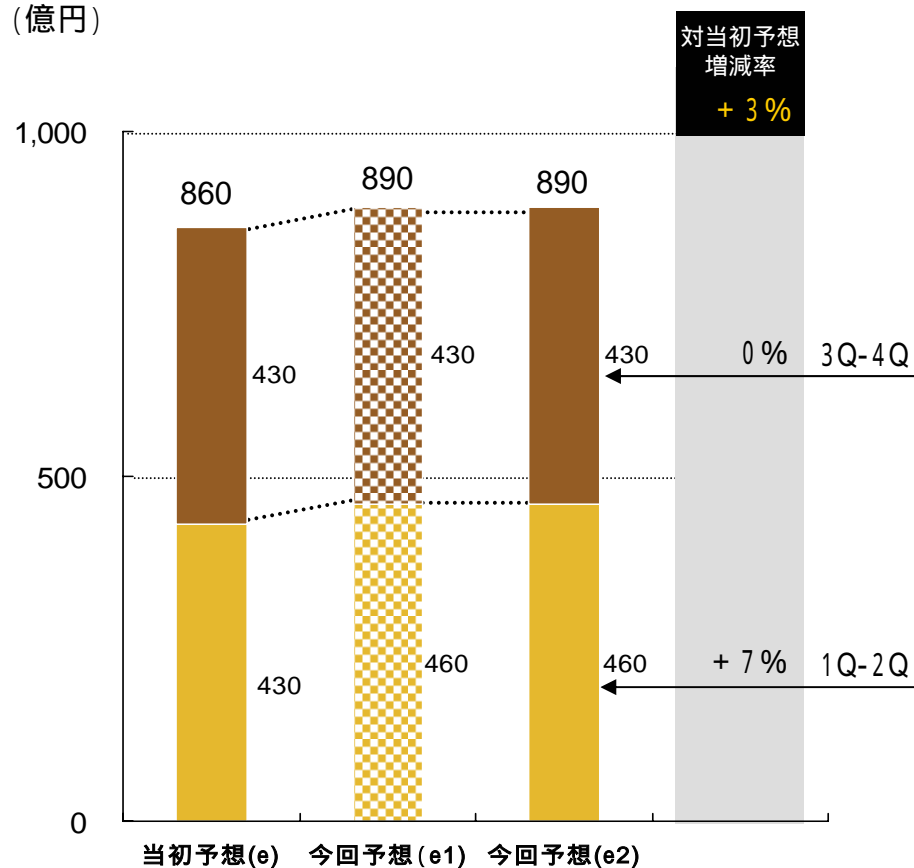
	1Q-2Q	3Q-4Q	合計
売上高	311	+ 46	265

# 2009年3月期 業績予想 (ライフサイエンス)



## 売上高

(億円)



(注) 当初予想(e)=2008年4月公表値

今回予想(e1)=(e)+業績変動影響額(x)

今回予想(e2)=(e1)+会計方針変更影響額(y)

## セグメント別予想 増減説明

### 1. 業績変動による影響額

(億円)

	1Q-2Q	3Q-4Q	合計
売上高	+30	0	+30

【主な偏差要因】

\*欧米向医用分析装置が好調を維持

### 2. 会計方針変更による影響額

(億円)

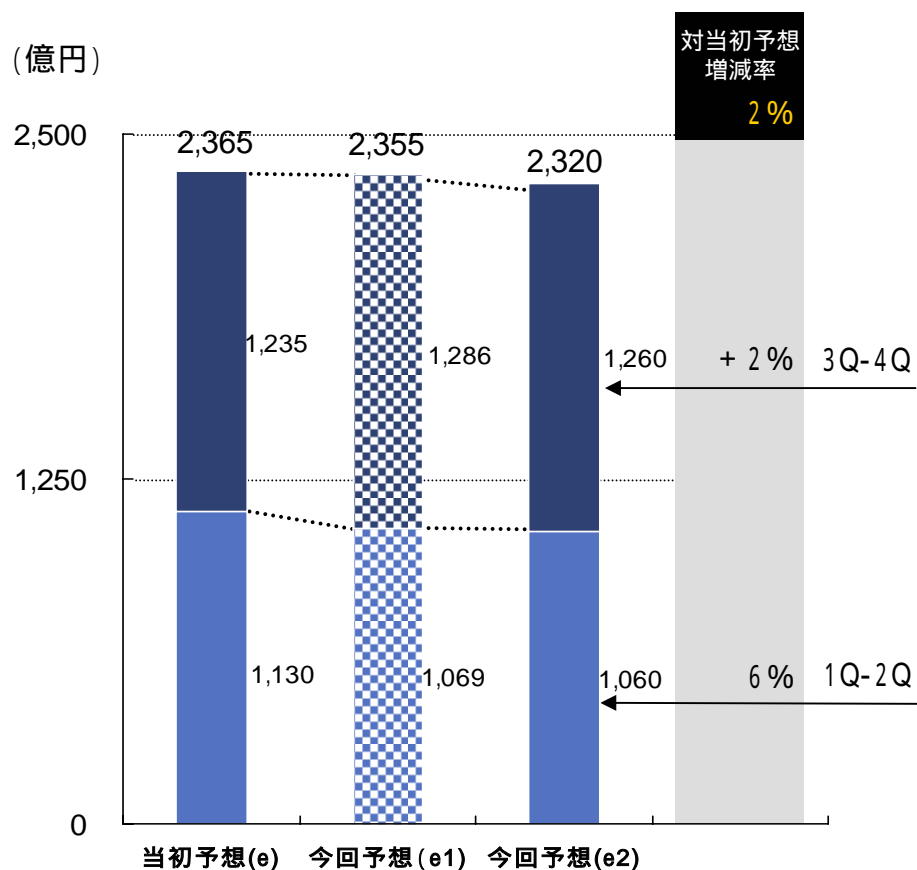
	1Q-2Q	3Q-4Q	合計
売上高	0	0	0



# 2009年3月期 業績予想 (情報エレクトロニクス)



## 売上高



(注) 当初予想(e)=2008年4月公表値

今回予想(e1)=(e)+業績変動影響額(x)

今回予想(e2)=(e1)+会計方針変更影響額(y)

## セグメント別予想 増減説明

### 1. 業績変動による影響額

(億円)

	1Q-2Q	3Q-4Q	合計
売上高	61	+ 51	10

【主な偏差要因】

\*情報通信機器(携帯電話・ブロードバンド製品)は、欧米市場で需要減

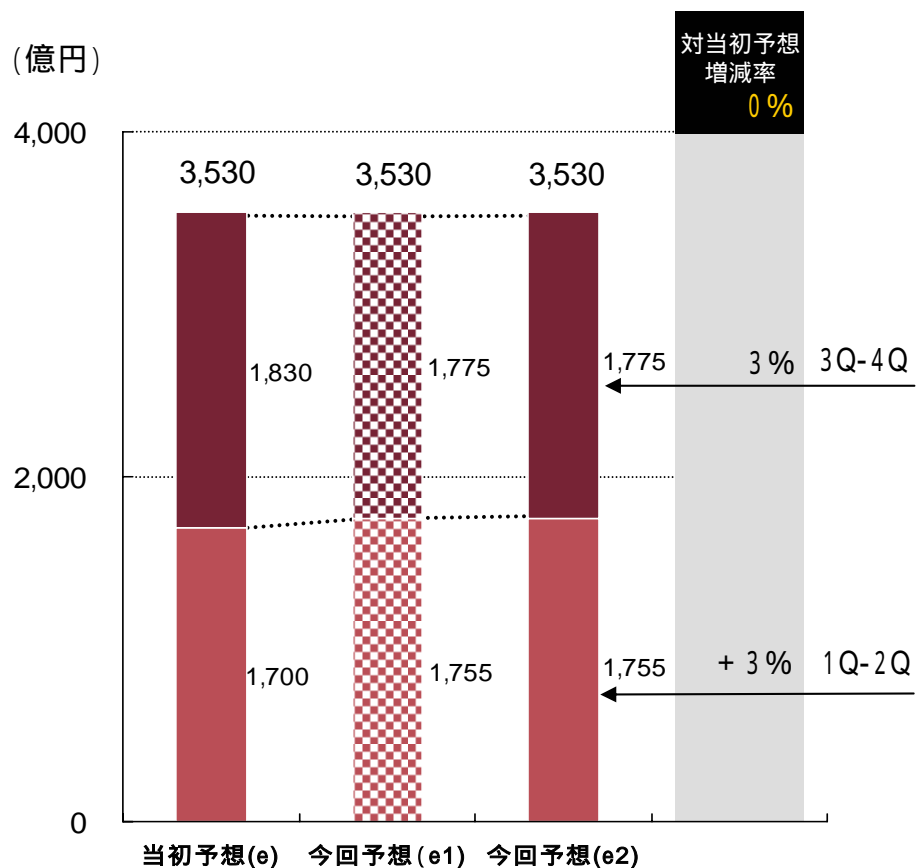
### 2. 会計方針変更による影響額

(億円)

	1Q-2Q	3Q-4Q	合計
売上高	9	26	35

# 2009年3月期 業績予想 (先端産業部材)

## 売上高



(注) 当初予想(e)=2008年4月公表値

今回予想(e1)=(e)+業績変動影響額(x)

今回予想(e2)=(e1)+会計方針変更影響額(y)

## セグメント別予想 増減説明

### 1. 業績変動による影響額

(億円)

	1Q-2Q	3Q-4Q	合計
売上高	+ 55	55	0

#### 【主な偏差要因】

\*前半は液晶関連部材の好調等により増加するも、後半は、電子材料の需要減等により減少

### 2. 会計方針変更による影響額

(億円)

	1Q-2Q	3Q-4Q	合計
売上高	-	-	-

## 参考:データ集

(注)08年1Q実績は会計方針変更後の数値

# 四半期業績の推移



(億円)

	07年1Q	07年2Q	07年3Q	07年4Q	08年1Q
売上高	2,251	2,621	2,263	2,296	1,829
営業利益	87	146	81	178	19
経常利益	91	147	86	164	26
当期利益	57	90	55	67	2

## セグメント別売上高

(億円)

	07年1Q	07年2Q	07年3Q	07年4Q	08年1Q
電子デバイスシステム	635	766	587	661	250
ライフサイエンス	196	243	261	261	248
情報エレクトロニクス	546	700	543	539	443
先端産業部材	874	913	873	834	888

# 主要製品群別売上高の状況

(億円)

	07年1Q	07年2Q	07年3Q	07年4Q	08年1Q
電子デバイスシステム	635	766	587	661	250
プロセス装置	139	190	248	170	83
評価・解析装置	191	255	165	291	94
液晶関連製造装置	100	217	71	112	22
HD関連製造装置	80	16	21	22	4
その他	125	88	82	66	47
ライフサイエンス	196	243	261	261	248
バイオ関連機器	47	59	50	57	40
医用関連製品	123	152	178	177	189
その他	26	32	33	27	19
情報エレクトロニクス	546	700	543	539	443
情報システム	222	290	191	207	149
組立装置	76	107	72	79	50
半導体	102	99	104	90	85
メディアデバイス・情報通信	75	80	80	78	68
その他	71	124	96	85	91
先端産業部材	874	913	873	834	888
工業材料	433	465	398	418	421
電子デバイス材料	185	181	176	222	240
光関連部材	68	82	67	66	74
その他	188	185	232	128	153

<資料取り扱い上の注意>

本プレゼンテーションで述べられている決算概要及び業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結です。

数値情報は、億円未満を四捨五入しています。

増減率は、基本的に円単位で計算しています。

本プレゼンテーションで述べられている将来の当社業績に関する予想は、現時点で知りうる情報をもとに策定されたものです。当社の参画する産業界はテクノロジーの変化が速く、競争の激しい産業です。また、世界経済、半導体市況、為替相場など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、今後、当社の業績が本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおください。但し、大きな変動がある場合は、証券取引所の適時開示規則及び当社の自発的判断等に基づき、その都度公表していく所存です。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



# END

---

2009年3月期 第1四半期決算補足資料

お問合せ先  
社長室 広報・IRグループ 部長代理 加藤 弘之  
TEL: 03-3504-5138 FAX: 03-3504-5943  
E-mail: kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com

**日立ハイテク**

最先端を、最前線へ。